

迎

春



2013

市民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、市政運営に当たり、皆さまのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、市長就任以来、市民が幸せと誇りを実感できる「元氣な」かのや「づくり」の実現に向け、市民の皆様とお約束した『対話』『改革』『挑戦』『飛躍』の4つを基本姿勢に、様々な施策に鋭意取り組んでまいりました。

具体的にこの3年間を振り返りますと、一つ目の『対話』については、「市長と語る車座会議」や、旧3町の地域づくりのあり方について協議する「地域再生会議」、産業や市民生活分野等についてテーマを絞って意見を伺う「元氣なかのやづくり会議」などを開催し、市民の皆様の声と力を市政に生かしたまちづくりに努めました。

二つ目の『改革』については、第2次の鹿屋市行政改革大綱や集中改革プランを策定し、これに基づき、職員給与及び定数の適正化による総人件費の抑制や、市民参画による事務事業の外部仕分けなど、中長期の健全財政の維持に努めてきました。

三つ目の『挑戦』については、企業誘致の推進や、農商工連携・

6次産業化への支援、中心市街地の活性化に向けた街づくり活動への支援など、基幹産業である農業を中心に、地域を元気にする産業づくりを行いました。

また、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、子ども医療費の助成制度を小学生まで拡充するとともに、大隅広域夜間急病センターを設立し、医療機能を強化したほか、市民の安全・安心を守るため、津波を想定した訓練や災害時の相互応援協定を神奈川県綾瀬市と締結するなど、危機管理体制を強化してまいりました。

最後に四つ目の『飛躍』の取組は、将来を担う子どもたちの明るい未来を創造するため、輝北地区学校統廃合や花岡小中一貫校の整備、文化会館のリニューアルによる利用促進などに取り組みました。

他にも、交流人口の増加促進のため、大阪や福岡で本市特産品の紹介やかのやばら園のPR活動を行ったほか、アジア圏域への物流・人的交流を見据えて韓国でもトップセールスを行いました。

また、スポーツによるまちづくりのため、鹿屋体育大学と連携し、プロ野球、プロサッカー選手等の自主トレーニング誘致も行いました。